



めいしょう



2014. 12
第151号

だよい



師走に入り、ますますご多忙の事と存じます。皆様はいかがお過ごしでしょうか。今回は12月1日に開苑5周年を迎えるグランヴィ歳王にスポットをあてていきたいと思ひます。施設長、介護課主任にお話を伺ってきました。

〈グランヴィ歳王 5周年〉

○5周年を迎えていかがですか？

★中村施設長→5周年を迎えて、入居者様及びご家族の皆様方、職員を含む全ての方々に心より感謝申し上げます。

★重久介護課主任→皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも多くの笑顔を見ることができるよう頑張っていきます。

○介護に対する思いを教えてください。

★中村施設長→一人でも多くの方の笑顔を見るためには努力をおしまない所存です。

★重久介護課主任→ご入居者様、ご家族が最期に「良い人生だった」と思えるような生活のお手伝いが出来たらと思ひます。

○今後の抱負を教えてください。

★中村施設長→常にご入居者様、ご家族様の気持ちを尊重し、働く職員を含め、全ての方が幸せになれる施設を目指します。

★重久介護課主任→グランヴィの名に恥じない思いやりや優しさに溢れる施設を目指します。



中村施設長と重久介護課主任



→ご入居者様とご一緒に。
笑顔が素敵です。

←重久介護課主任



<http://www.fukushi-e.com>

ホームページはこちらから



シリーズ 介護の現場から vol.7

「シリーズ 介護の現場から」認知症ケアについて考える。

7回目の今号も、皆様と認知症について考えてみたいと思ひます。

さて、前号では「オレンジプラン」7項目のうち1～4についてお伝えしましたが、今号は残り5～7についての目標を明らかにしたいと思ひます。

5、地域での日常生活・家族の支援の強化…認知症地域支援推進員を平成29年度末までに700人の配置(中学校区5つに1名の配置を目標とするが、当面5年間で700名の配置)や、認知症サポーターの人数を累計で平成29年度末600万人、市町村での市民後見人の育成・支援組織の体制整備、認知症の人やその家族等に対する支援を平成25年度以降実施。

6、若年性認知症施策強化…若年性認知症支援のハンドブックを作成し、医療機関、市町村窓口等で診断された人とその家族に配布。若年性認知症の人の意見交換会開催都道府県を平成29年度には47都道府県へ拡大。

7、医療・介護サービスを担う人材の育成…認知症らいふサポートモデル(認知症ケアモデル)の策定、認知症介護実践リーダー研修の受講者数向上(累計)、認知症介護指導者養成研修の受講者数向上(累計)、一般病院勤務の医療従事者に対する認知症対応力向上研修の受講者数87,000人(累計)

以上が「オレンジプラン」の内容です。皆様どのように考えられますか？次回は認知症高齢者の介護サービス利用が5年後にはどのような推計になっているかお伝えしたいと思ひます

認知症ケア専門士 西岡伸介



←グランヴィ歳王の
みなさま(^-^)

